

TOKAI RIKA Report 2023

Contents

東海理化を知る

- 2 東海理化の存在意義
東海理化の経営理念
- 4 東海理化グループの歴史
- 6 東海理化グループの事業
- 8 財務・非財務ハイライト

価値創造ストーリー

- 10 トップメッセージ
- 14 収益改革本部長メッセージ
- 16 価値創造プロセス
- 18 価値創造を支える6つの資本
- 20 ビジネスモデル
- 22 マテリアリティ
- 24 特集1: デジタルキーの可能性
～ Bqey と Uqey
- 26 特集2: 社会課題解決型商品・
サービスの開発

成長戦略

- 28 中期経営計画
- 32 事業概況

価値創造の基盤

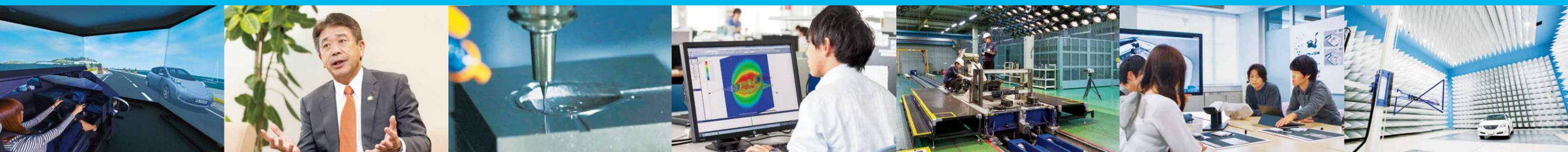
- 38 東海理化グループの
サステナビリティ
- 39 ステークホルダー
エンゲージメント
- 40 社会
顧客の安全・品質方針/安全と健康/
人財育成/ダイバーシティ/
労働/人権/サプライチェーン/
社会貢献活動

- 48 環境
脱炭素社会の構築/
自然共生社会の構築/
循環型社会の構築/環境経営

- 56 ガバナンス
社外取締役座談会/
コーポレート・ガバナンス/
コンプライアンス/リスク管理/
役員一覧

データ

- 68 財務データ
- 75 会社・株主情報



編集方針

当社は統合報告書としての「東海理化レポート」を2017年より発行しています。今回は事業概況、社会・環境への取り組み報告の充実のため、昨年の63ページから75ページにページ増としています。また経済産業省の「価値協創ガイダンス 2.0」を参考に、経営資本の充実が当社の経営にどのような効果をもたらすのかを示しました。

対象範囲

株式会社東海理化および東海理化グループの取り組みを報告しています。

対象期間

2022年4月1日～2023年3月31日

※活動の理解を深めるものとして、一部2023年4月以降の活動や計画も記載しています。また、記載された関係者の所属・役職名は活動当時のものです。

発行時期

2023年9月(前回発行:2022年9月、次回発行:2024年9月予定、年1回発行)



参考ガイドライン

- ISO26000 (ISO)
- 国際統合報告フレームワーク (IIRC)
- GRIスタンダード (Global Reporting Initiative)
- 価値協創ガイダンス2.0 (経済産業省)
- 環境報告ガイドライン2018年版 (環境省)

本レポートに掲載しているデータについては、最新のデータ(2022年度末時点)に見直しています。(過去の報告書に掲載したデータとは異なる場合があります。)

【将来の見直しに関する注意点】

本レポートには、当社の将来についての計画や戦略、業績に関する予想および見直しが含まれており、これらの記述は、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定および所信に基づく見込みです。環境の変化によって実際の結果とは異なる場合があります。実際の業績が当社の見込みとは異なる可能性があることをご承知ください。

外部評価

ESGの評価



その他認定

